

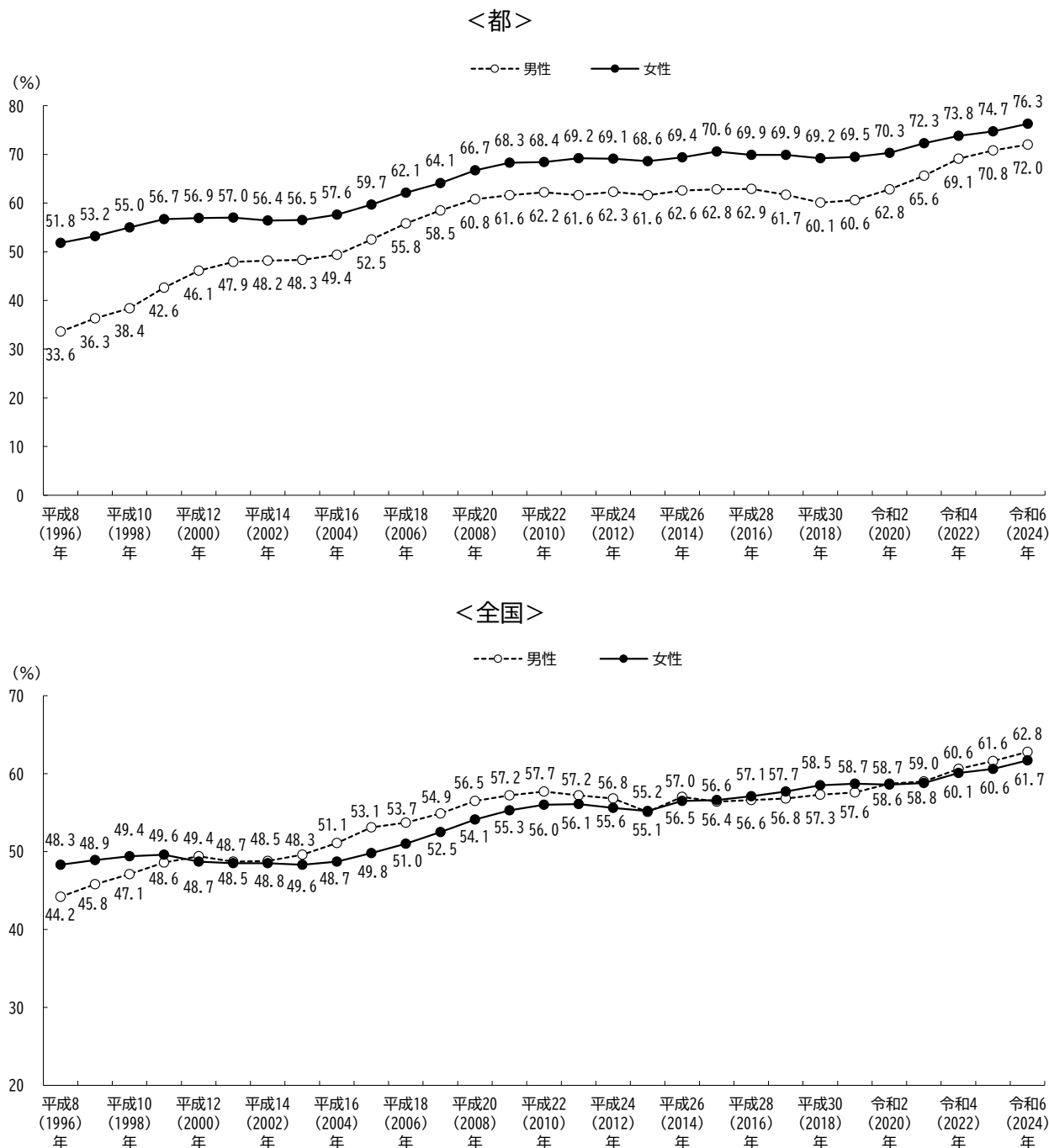
2-2 教育・学習の充実

2-2-(1) 学校での男女平等

1. 大学進学率の推移

令和6（2024）年、都における女性の大学・短期大学への進学率は76.3%で、全国を14.6ポイント上回っている。男性では72.0%であり、全国を9.2ポイント上回っている。

図表2-2-(1)-1 大学(学部)・短期大学(本科)への進学率(過年度高卒者を含む)の推移(都・全国)



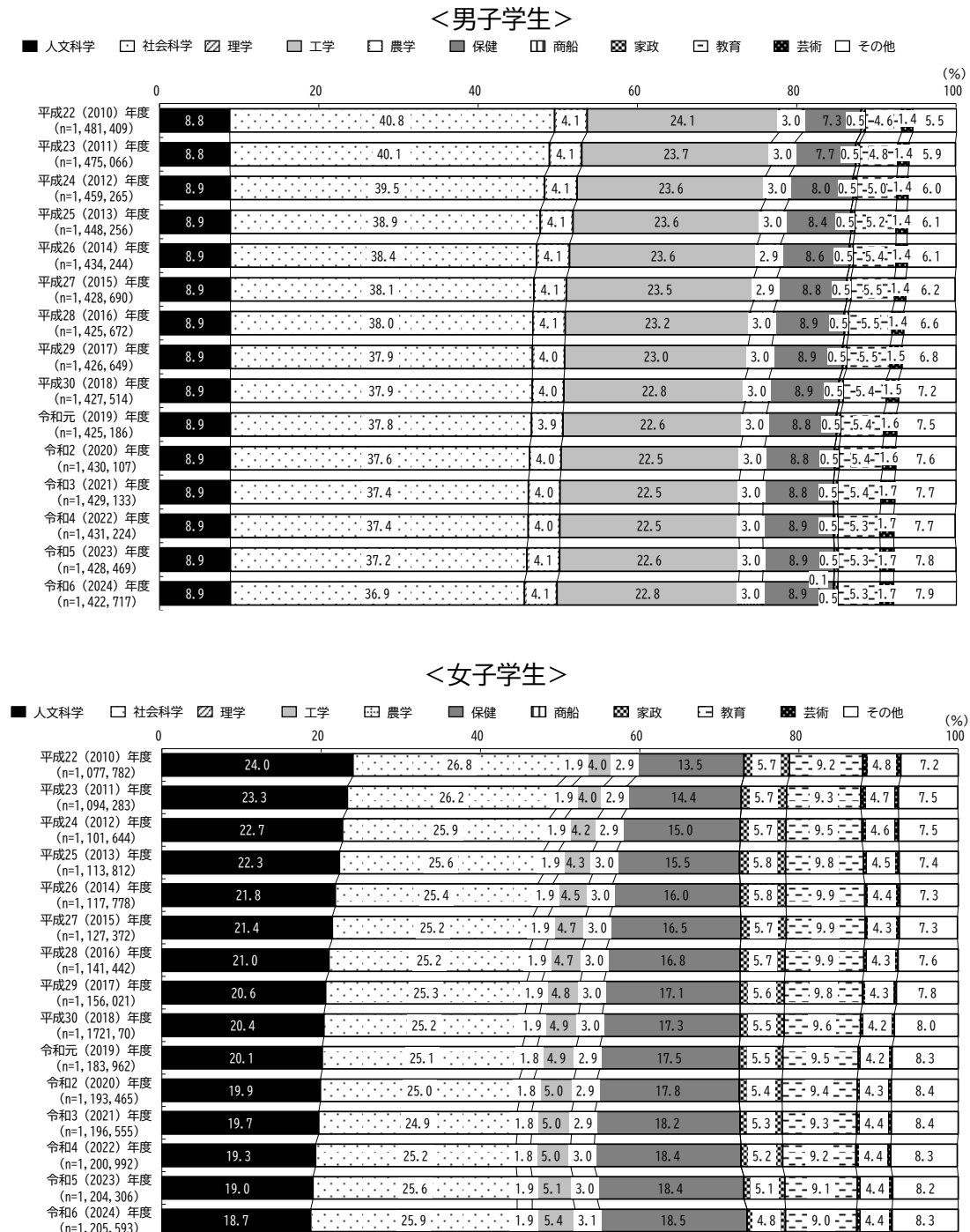
資料：文部科学省「令和6年度学校基本調査」

2-2-(2) 若者のキャリア教育の推進

1. 大学生の学部別構成

大学生の学部別構成比の推移をみると、男子学生では社会科学、工学の割合が高く、ほぼ横ばいである。一方、女子学生では社会科学、人文科学、保健の割合が高く、人文科学が減少、保健が増加傾向にある。令和6（2024）年は、男子学生で社会科学36.9%、工学22.8%である。女子学生では社会科学25.9%、人文科学18.7%、保健18.5%となっている。

図表 2-2-(2)-1 大学生の学部別構成比の推移（全国）



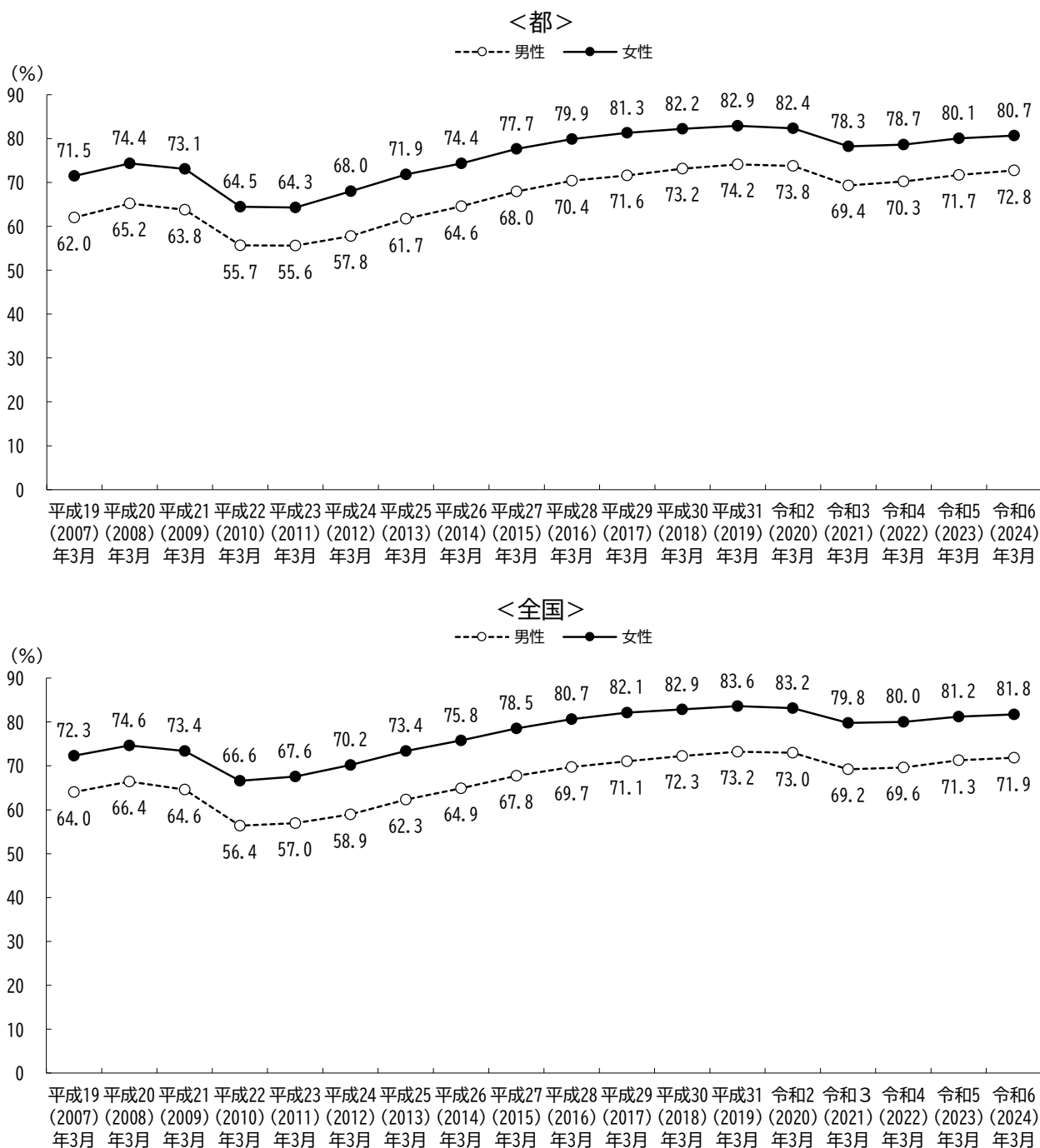
注：各年度5月1日現在

資料：文部科学省「令和6年度学校基本調査」

2. 大学生の就職率

令和6（2024）年3月に大学を卒業した学生のうち就職した者の割合は、都で男性72.8%、女性80.7%である。平成19（2007）年以降、都・全国とも一貫して女性の就職率が男性を上回っている。

図表 2-2-(2)-2 大学卒業者に占める就職者の割合（都・全国）



資料：文部科学省「令和6年度学校基本調査」